

ごみ減量を
緊急に

家庭も事業所も

さらに10%の減量を

ごみ減量は市民のみなさんのご協力により進んでいます。北部清掃工場での処理量は、ピーク時には一日二八〇トンでしたが、現在は一日三三〇トンに減っています。しかし、改修工事のために三号炉を止める期間中は、さらに一日三〇トンの減量が不可欠です。家庭でも事業所でも、これまで以上のご協力をお願いします。

分別を
徹底して
リサイクル

焼却ごみのうち五〇%弱は紙と布で、リサイクル可能なものが多く含まれています。特に紙は、新聞、雑誌、ダンボール、



牛乳パックなどに分別し、再生可能物収集の日か地域の資源回収に出してください。

事業所ではこれまで焼却していた機密文書も、機密保持再生業者を活用するなどしてリサイクルすることが出来ます。

ビン、カンなども、しっかりと分別し、リサイクルに回しましょう。

資源集団回収に助成

市では、あらかじめ市に登録していただいた住民団体が、家庭から出る古紙類を集団回収すると、その量に応じて助成金を交付しています。

対象

古紙類(新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パックなど)

助成額

一キログラムにつき五円

生ごみは
堆肥化や
徹底した
水切りを

焼却ごみの約四分の一を占める生ごみは、特に夏場には水分が多く含まれています。出す前にしっかりと水切りをして分量を減らしましょう。また、生ごみを堆肥に変える生ごみ処理機を利用して、堆肥化に努めましょう。

生ごみ処理機購入を補助

市では、生ごみ処理機を購入する人に、購入金額の二分の一(二万円が上限)を補助しています。購入を希望する人は、生活環境課または各地区市民センターで申請した後、補助決定通知書がお手元に届いてから購入してください。



犬猫のフン
のお願い



犬や猫などペットの飼い方をめぐり、地域での苦情やトラブルが増えています。飼い主は、公園や道路などの公共の場所や他人の土地、建物を、ペットのフンで汚さないようにしましょう。また、ペットの飼い方について、地域全体の問題として、地域のみなさんで話し合いをしていただくよう、お願いします。